

## 【ディフェンス まとめ】

## (1) 心構え

- ・オークションとダミーから、凡そのディクレアララーのハンドパターンを想像してみましょう。
- ・1ダウンさせることができる状況を想定してプレーしよう。

## (2) オープニングリード &amp; その後のリード・スートの選択

- ・パートナーのスートをオープニングリードするのは基本的に良い姿勢です。  
ダブトン、シングルトンであっても。
- ・しっかりしたアナーシーケンスからのリードが良い。  
良いアナーシーケンスとは、スートコントラクトでは2枚以上続き、NTでは3枚以上続き。  
良いシーケンスが無ければ、アナーの無い4枚か3枚からのリードがいい。
- ・Jの3枚や4枚からのリードは、一番損をしやすいリードなので避けた方がよい。
- ・受け身的なディフェンスをする時は、損する可能性の少ないトランプリードが良い。  
取れそうに無い弱いトランプ3枚からのオープニングリードは、選択としてかなり有効。(ラフを防ぐ)  
シングルトンのトランプリードは良し悪し。(パートナーのトランプが痛む)
- ・オポーネントスートのシングルトンリードは、良し悪し。(パートナーのアナーが痛む)  
トランプを狩り切れ、オポーネントスートを走られてルーザーをディスカードされる可能性あり。  
従って、シングルトンリードは、トランプにA x やK x x のストッパーが有り、且つラフできる x があること。
- ・AKQのシーケンスはキャッシュする。(ラフ&ディスカードに気をつける)  
アナー3枚以上からリードした後は、ボトムオブシーケンスをリード。
- ・NTのコントラクトで全体がバランスしていると思われるとき、  
4枚スートのアナーからの4thベストのオープニングリードは損をすることが多い。  
5枚スートなら何時でも積極的に4thベストでOK。  
4枚の時は、パッシブに弱い4枚からのリードが有力なことがある。
- ・ダミーに弱い3枚スートがあれば、そこを攻める。  
他のスートにAKを持っていても、弱い3枚攻めを優先する。

## (3) オープニングリード &amp; その後のリード・カードの選択

- ・良いアナーシーケンスからリード。  
良いアナーシーケンスとは、スートコントラクトでは2枚以上続き、NTでは3枚以上続き。  
アナーシーケンスのトップをリードする。例外は、AKがある時はKからリード。AKダブルトンはAKとリード。
- ・NTでは、AKQ x はKから。AK x x は4thベスト。AKxxxもサイドにエントリーがないときは、4thベスト。  
AK x x x x はKから、6枚目のxは「Q」と見なす。但し、他にエントリーが無い時は、xリードも検討。
- ・NTのオープニングリードでは、KQT x はKQJの3枚続きと見なし、Kをリード。
- ・ダブルトンは上からリード(当初3枚持っていたても、2枚になった時は上から！)

#### (4) ディフェンス プレー

- ・ スートコントラクトでは、AKxxxを持っていて、パートナーがQをリードしてきた時は、Kでオーバーテイクし、Aを出す。
- ・ スートコントラクトで、KのオープニングリードにQをだすのはJを保証。  
NTでは、QxのダブルトンでもQは出さずxをフォローする。
- ・ NTでは、ダブルトンのハイローサインは出さない。カモン／ノンカモンのサインだけになります。
- ・ カモンサインは可能な限り高いスポットカードをプレーすること。
- ・ AKxxからのリードで、ノンカモンが出た時、続けてAを出さずにシフトすること。
- ・ KQxxのKリードでパートナーからカモンのサインがあった時は、  
残りのカードは「Qxx」でもうアナーシークエンスは無いので、オリジナル4thベストを出す。
- ・ フォローは、同格は下のカードをプレイ。
- ・ 同じ枚数を守るべし。(オポネントのxをエスタブリッシュさせないため)
- ・ RSO (ダミー) がシングルトンの時は、Kを持っていても直ぐに出さないこと。
- ・ 格言「ラストアナーにカバーせよ」、絵札に直ぐカバーしてはだめ。
- ・ サードハンドハイは絶対ではない。(ハイカードをプレーしてもパートナーのカードの昇格を助けるほどでもない時)  
機械的なサードハンドハイに注意しましょう。
- ・ ダミーのハンドを含め同じ効果になる最も小さなカードをフォローする。

#### (5) 参考

##### 1) アナーのないスポットだけのスートからのリード

###### ① 4+枚

- ・ トップオブナッシング

###### ② 2枚

- ・ トップ (上-下)

###### ③ 3枚

- ・ MUD (真中-上-下)

##### 2) アナーのあるスートからのリード

###### ① 2枚以上続いたアナーのあるスートから

- ・ シークエンスのトップから (AKのあるスートからは「K」をリード)

###### ② 1枚アナーのあるスートから

- ・ 4枚以上のスートからは「4thベスト」をリード
- ・ 3枚のスートからは「3rdベスト」をリード

##### 3) スポットカードがリードされたとき (正確には2枚目のカードを見ないと分からない)

###### ① 小さいカードがリードされたとき (下記のどのケースかは、オークションから判断する)

- アナーが1枚あるスートの4thベスト or シングルトン (3 2等のダブルトンの可能性あり)

###### ② 大きいカードからリードされたとき (下記のどのケースかは、オークションから判断する)

- 4+枚、2枚 (ダブルトン)、1枚 (シングルトン) からのリード

###### ③ 真ん中のカードがリードされたとき (下記のどのケースかは、オークションから判断する)

- 3枚、2枚 (ダブルトン)、1枚 (シングルトン) からのリード

【ディフェンスのワンポイントレッスンまとめ】

回	タイトル	概要
1	ダッキングでエントリを確保	<ul style="list-style-type: none"> <li>・勝てるトリックを負けて（ダッキング）、そのスートでのエントリを確保する</li> <li>・長いスートの4thベストをリードする</li> <li>・3rdハンドではハイカードをプレーする（3rdハンドハイ）</li> <li>・ダブルトンは上からリード（当初3枚持っていて、2枚になった時は上から！）</li> </ul>
2	ダブルトンサインでラフを示す	<p>パートナーのアナーのリードに対しては、アティチュードシグナルを出す                      高いカード：「カモン」、低いカード：「ノンカモン」</p>
3	ディクレアラーの枚数の見当をつけて	<p>ダミーを見た時に、オークションや、見えるスートの枚数をヒントにして、  <b>おおよそのディクレアラーのハンドパターンを想像してみましょう。</b></p>
4	サードハンドハイ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・7NTに対するオープニングリードは、リードで損しないのが大事な心得です。</li> <li>・しっかりしたアナーの良いシークエンスからのリードが望ましい。</li> <li>・<b>良いシークエンスが無ければ、アナーの無い4枚か3枚からのリードがいい。</b></li> </ul>
5	オリジナルフォースベストを読む	<ul style="list-style-type: none"> <li>・リターンするときも、オリジナルフォースベストのリードが大事。</li> <li>・何を持っているかを読み取れる可能性大</li> </ul>
6	ダブルトンは上からリード	<—
7	トランプリードする（1）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・オープニングリードの選択の第一歩は、オークションを分析して、だいたいのオポネントのハンドを想像することです。</li> <li>・Jの3枚や4枚からのリードは、一番損をしやすいリードです。</li> <li>・受け身的なディフェンスをする時は、損する可能性の少ないトランプリードが良い。</li> <li>・取れそうに無い弱いトランプ3枚からリードは、良いリードです。</li> </ul>
8	オーバーテイクする	<ul style="list-style-type: none"> <li>・AKxxxを持っていて、パートナーがQをリードしてきた時は、Kでオーバーテイクし、Aを出す（スートコントラクトの時）。</li> <li>・パートナーのQがシングルトンでもダブルトンでも損はしません。</li> </ul>
9	トランプシフトする	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ダミーにシングルトンが見えている時は、たくさんラフされないようにトランプの逆狩りが基本です。</li> </ul>
10	落ち着いて対応する	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ダミーにエスタブリッシュしそうなスートがある時は、慌ててそのスートのウィナーで勝たないこと。</li> </ul>
11	パッシブなディフェンス	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ダミーがバランスハンドで脅威なスートがなく、ディフェンス側にもシフトしたいスートがない時は、リードで存しない心がけが必要です。</li> <li>・パッシブなディフェンスとして、パートナーがリードしたスートのリターンが最適。</li> </ul>
12	NTでは、フォースベストを	<ul style="list-style-type: none"> <li>・AKxxxでサイドにエントリがないときは、4thベストをリード。</li> <li>・第1回のダッキングの要領。</li> </ul>
13	トリックの目標を持って	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ディフェンス側にAKQがあっても、急いで取るとプレーヤーの4枚目がエスたる可能性あり。ディフェンス側で取るトリックの目標を持ってディフェンスする。</li> </ul>
14	攻めるべきスートとは	<ul style="list-style-type: none"> <li>・2の代では安売りしないで、リオープン的位置では、可能であればダブルで頑張る。</li> <li>・ダミーの弱いスートを攻める。</li> </ul>
15	はっきりとカモンサインする	<ul style="list-style-type: none"> <li>・<b>カモンサインは可能な限り高いスポットカードをプレーすること。</b></li> </ul>
16	ディクレアラーの狙いを察知する	<ul style="list-style-type: none"> <li>・エスタブリッシュ、アップトリックなどを察知し、ダッキングやAキャッシュを考える。</li> </ul>
17	ディスカードされる前に	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ダミーにエスタブリッシュしそうなスートがある時は、取れそうなスートを攻める。</li> </ul>
18	トランプリードでラフを防げ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・フォローは、同格は下のカードをプレイ。</li> <li>・ダミーの短いトランプでラフされそうな時は、トランプリードが良い。</li> </ul>
19	オープニングリードの選択	<ul style="list-style-type: none"> <li>・オポネントのオークションを良く聞くこと。</li> <li>・パートナーがオーバーコールをしなかったら、良いアンビッドスートは持っていないだろう。</li> <li>・一般に後ろで長さを持たれているスート（ビッドされた）は見込みうす（リードせず）。</li> <li>・迷ったら、「長くて強いスートの4thベスト」（NTであれば、KJxxxでも）</li> </ul>
20	ウィナーをキャッシュする	<ul style="list-style-type: none"> <li>・アナーのシークエンスは上からリード。</li> <li>・AKQのシークエンスはキャッシュする。（ラフ&amp;ディスカードに気をつける）</li> </ul>

回	タイトル	概要
21	同じ枚数を守るべし	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ J 抜けの 9 枚フィットは、2 アナー側のアナーを先に取り。</li> <li>(AQTx x) (K x x x) は先ず A を取り、次に K を取り、QT に向けてリード</li> <li>・オークションでプレイヤーが 5 枚スートを持っている事が分かっている、自分がそのスートを 5 枚持っている時は、同じ枚数を守ること！(5 枚目をエスタブリッシュさせない！)</li> <li>・RSO がシングルトンの時は、K を持っても直ぐに出さないこと、取ると、パートナーが A を持っていた時、ラフティングフィネスされてしまう。</li> </ul>
22	じっくりと、パッシブな方針	<ul style="list-style-type: none"> <li>・NT で、自分が攻めたいスートが、オポネントがビッドしたスートの時、そのスートはリードせず、パッシブなリードを選ぶ。</li> </ul>
23	機敏なオーバーテイク	<ul style="list-style-type: none"> <li>・オークションからパートナーやプレイヤーのハンドを予想しよう。</li> <li>・カモンのサインは忘れずに！</li> </ul>
24	基本のカードリーディング	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「同格は下のカードをフォロー」「スートプリファランスシグナル」などをちゃんと出す。</li> </ul>
25	6N に対するオープニングリード	<ul style="list-style-type: none"> <li>・バランスハンドの時は、パッシブなリードがよい。</li> </ul>
26	狩り残されたスモールランプの謎	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「ラフしたい」が理由でしょう。従って、トランプリードが良いディフェンス。</li> </ul>
27	長さの見当をつけて	<ul style="list-style-type: none"> <li>・大きなスポットカードがリードされたときは、絵札のない 3 枚以下。それを考慮して、プレーや長さに検討をつける。</li> <li>・格言「ラストアナーにカバーせよ」、絵札に直ぐカバーしてはだめ。</li> </ul>
28	ノンカモン見たら、シフトせよ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・AK x x からのリードで、ノンカモンが出た時、続けて A を出さずにシフトすること。小さいカードのフォローは、3 枚か 1 枚はオークションから判断。</li> </ul>
29	スーツプリファランスリターン	<ul style="list-style-type: none"> <li>・オポネントスートのシングルトンリードは、良し悪し。(パートナーのアナーが痛む)</li> <li>「シングルトンはリードせよ」というものもある。</li> <li>・シングルトンと考えてリターンする時、スーツプリファランスすること。</li> </ul>
30	ダブルトンで、カモンをする	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ダブルトンは「ハイロー」でカモンサインをだす。</li> <li>・3 枚目をラフさせる時は、スートプリファランスシグナルを出すこと。</li> </ul>
31	ダミーに良いスートが見えていたら	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「迷った時は、パスよりビッド」</li> <li>「高い代のの競り合いは、しばしば 2 スーターフィットしている」</li> <li>・N がビッドし、弱いハンドの S からのリード。</li> <li>リードの機会を保持し、ダミーを見て、N のサインを見て、再びリードしたい！</li> <li>そんな時、N のビッドしたスートに K x x x を持っていたら、K をリードする方法もある。</li> <li>普通は、4 th ベストです。カモンなら継続、ノンカモンならシフトする。</li> <li>・「ダミーに良いスートが見えている時は、捨てられる前にキャッシュせよ」</li> </ul>
32	攻めるべきは、弱い 3 枚スート	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ダミーに弱い 3 枚スートがあれば、そこを攻める。</li> <li>他のスートに AK を持っても、弱い 3 枚攻めを優先する。</li> </ul>
33	ディフェンス側でのダッキング	<ul style="list-style-type: none"> <li>・素直なオープニングリード：パートナーのオーバーコールしたスート、アナーカードがあってもダブルトンは上からリード。</li> <li>・オーバーコールした側にエントリが無い時は、初回はダックしカモンサインをだすこと。</li> </ul>
34	シングルトンリードを読み取る	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ディクレアラーは、7 枚以上のスートにリードがきたら、短いスートからのリードと考えよう。</li> <li>・シングルトンかダブルトンを読み取ろう。(ダブルトンはハイローリード)</li> </ul>
35	ダッキングでエントリを確保せよ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・明確なエントリが無い時は、最初のリードをダッキングし、次回のリードを待つ。</li> </ul>
36	オーバーテイクし、自分で解決	<ul style="list-style-type: none"> <li>・オークションとダミー、リードからディクレアラーがシングルトンと分かたらオーバーテイクし、シフトする (A のキャッシュなどでカモン/ノンカモンを見る)</li> </ul>
37	二巡目のリードの仕方	<ul style="list-style-type: none"> <li>・スートコントラクトでは、アナーのシークエンスは上のアナーをリードする。</li> <li>KQxx の K リードでパートナーからカモンのサインがあった時は、<b>「Q x x」でもうアナーシークエンスは無いのでオリジナル 4 th ベストを出す。</b></li> <li>続けて「Q」をリードしないのが大切。</li> </ul>
38	捨てられる前に、トリックを作りに行く	<ul style="list-style-type: none"> <li>・オポネントにエスタブリッシュしそうなスートが見えたら、ディスカードされる前に、キャッシュできるものは直ぐに取る。(早期にエスタブリッシュに動く)</li> </ul>

回	タイトル	概要
39	慌てない。何も急がない	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ K J 10の内部シークエンスからは、繋がっている部分（J 10）の上からリードするのが一般的です。</li> <li>・ 「アナーにはアナーをカバー」する。 RSO：ダミーに絵札が見えていて、自分がその絵札の上のカードを持っている時、そのスートのリードは損をする。</li> </ul>
40	セッティングトリックを意識して	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 自分の良いスートのリードもOKですが、パートナーのスートをオープニングリードするのは基本的に良い姿勢です。</li> <li>・ トリック数を意識してディフェンスする。</li> <li>・ <b>あと1トリックでダウンなら、LSOにKが見えていても、Aをキャッシュする。</b></li> <li>・ ♡AKQと♠Aがある時、♡QKと勝ち、♠Aを取る。♡Aはラフられる可能性あり。</li> </ul>
41	基本に忠実にディフェンスする	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 「NTでは、長くて強いスートの4thベストをリードする」</li> <li>・ 「3枚のカードで、1回プレーされて2枚になった時、次回のリードは上から」常に「ダブルトンは上からリードする」（プレーの途中で2枚になったときも）</li> </ul>
42	パートナーのリードの数字を読む	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ オープニングリードが、4thベストかダブルトン、シングルトンなどを考える。</li> </ul>
43	ディクレアラーのHCPを数えて	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ オープニングリード後やディスカードが難しい時には、オポのHCPを数える。</li> </ul>
44	パートナーへのエントリを残して	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ <b>カモン／ノンカモンのサインは必ず出すこと。</b></li> <li>・ 直ぐにカモンのスートにシフトせず、シングルトンリードなど多くトリックが取れるように考えること。</li> </ul>
45	ぼろ3枚の トランプリードのススメ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ <b>弱い3枚トランプは、オープニングリードの選択としてかなり有効（ラフを防ぐ）</b></li> <li>・ Q or Jの3枚や、アナーの2枚、シングルトンなどのリードは慎重に！</li> <li>・ パートナーのハンドを想像しよう。</li> </ul>
46	Aキャッシュは急がないで	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ A K x xでKを取った時、Aを取るとダミーのQがエスタブリッシュすることが分かれば、慌ててAをキャッシュしないこと。</li> </ul>
47	ダミーにアナーがある時の 三番手のプレイ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ ダミーのアナーに自分のアナーを被せる。</li> </ul>
48	オープニングリードの選択	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ NTでは、A K Q xはKから。A K x xは4thベスト。</li> <li>・ A K x x xも4thベスト（ダッキングする気持ちで）</li> </ul>
49	ディクレアラーのHCPを数えて	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ <b>サードハンドハイは絶対ではない。</b></li> <li>・ ハイカードをプレーしてもパートナーのカードの昇格を助けるほどでもない時、ノンカモンすることで他のスートにシフトを促したい時。</li> </ul>
50	時々、Aのアンダーリードも	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ Aのアンダーリードは禁じ手ではありません。</li> <li>・ LSOのダミーにKが見えている時、パートナーにQを期待して、A x x xからxのAアンダーリードは有効です。元々勝てるKなので。</li> <li>・ 格言「アナーにはアナーをカバーせよ」</li> </ul>
51	フォローは下から	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 8 7 5 2からのオープニングリードで、8のトップオブナッシングも、2の4thベストもOK、ケースバイケース。</li> <li>・ フォローする時は、続きの一番下のカードをフォローすること。</li> </ul>
52	パートナーズートを想像して	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ <b>NTでは、「自分の長いスートではなく、自分たちの長いスートをリードせよ」</b></li> </ul>
53	トップオブナッシングのH 8だから	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ <b>機械的なサードハンドハイに注意しましょう。</b></li> <li>・ Kを出すとAに捕らえられ、Q Jが直ぐにエスタブリッシュしてしまう。</li> <li>・ ローを出していればKは捕らえられないかもしれない。</li> </ul>
54	4個取るプランを描く (4H/4Sでダウンさせるプラン)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ <b>KのオープニングリードにQをだすのはJを保証。</b></li> <li>・ パートナーからリードして欲しい時は、次にローを出す。</li> <li>・ (Q xの時もQをだすのでは?)</li> <li>・ ディフェンスは、1ダウンさせることができる状況を想定してプレーしよう。</li> </ul>
55	カモンサインの意味	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ Aのオープニングリードのとき、オークションやプレーからカモン／ノンカモンどちらのサインを出すか良く考えること。</li> </ul>

回	タイトル	概要
56	同格は下を不フォローだから	・ KQを持っていれば、Qを出す（同格は下から） ・ ダミーに4枚見えていて、自分が4枚を持っていれば、4枚目は守る必要あり。
57	フォースベストベストリードで エントリー確保	・ NTのオープニングリードでは、AKの5枚以下では4thベストをリード。 他にエントリーが無い時は、6枚以上でも4thベストをリードすること。
58	トップオブナッシングをリードする	・ トップオブナッシングのリード(大きなスポットカード)は良いアナーが無い事を伝えています。
59	リードしてきたスートを 機械的に返さない	・ オポネントがフィットしたら、ディフェンス側も何かフィットしている可能性大。 2の代での安売りは要検討（リオープンダブルを考える）。 ・ リードされたスートのAを持っていて勝てたとき、ダミーにQが見えていて パートナーがKを持っていそうでも返してはダメ。Qがエスタブリッシュする。
60	良いトランプでは シングルトンリードせず	・ KQxなどの良いトランプはラフしたいハンドではない。 従って、シングルトンがあってもリードせず、他の一般的なリードにすべき。
61	シングルトンアナートランプは 喜んでラフせよ	・ プレーの途中でシングルトンになったアナートランプは喜んでラフ！ 次のトランプ刈りでパートナーからもアナートランプが出る可能性あり。
62	アナーにアナーをカバーする	・ 普通、スモールスラムには、トランプリードをしない。但し例外もある。
63	ホールドアップして、 エントリを切る	・ NTのオープニングリードでは、KQTxはKQJの3枚続きと見なし、Kをリード。 ・ ダブルトンは上からリード。 枚数がわかれば、ダミーへのエントリを切るためにフォールドアップする。
64	基本に忠実なリードとリターン	・ 素直なリード：4thベスト、NTでは3枚続きのアナーのトップ。 ・ 残りが2枚の時は上からリード。ATxでAが勝ったとき、リードする時はT。
65	AはKを捕まえるために	・ スーツコントラクトでは、Aを含むスートはリードしない。
66	2トリック目のリードの仕方	・ NTでは、ダブルトンのハイローサインは出しません。 カモン/ノンカモンのサインだけになります。 ・ アナー3枚以上からリードした後は、ボトムオブシークセンスをリード。
67	全体を考えて、シフトする	・ NTでは、オープニングリードされたスートを単純に返すのではなく、 オークションやダミーのハンドから判断し、弱そうなスートにシフトも重要。 68&69はなし
70	スートプリファランスシグナル	・ パートナーがラフできそうなどのリードは、スートプリファランスになる。 大きいカードは高いランクのスート、小さいカードは低いランクのスート。
71	スートプリファランスシグナル、再び	・ 弱いハンドからのシングルトンリードは大いにチャンスあり。 ・ リード方法については前述の「70」と同じ。
72	ダッキングリードをして、 エントリを確保する	・ NTでは、Ax xxxからは、4thベストをリード。 次の機会もxをリードしエスタる。
73	ルールオブ11から、推理すると	・ 4thベストのリードの時、リードされた数字を11から引いた数が、 他の3人が持っているリードされたカードよりも大きいカードの合計数となる。
74	ダミーのカードを吟味して	・ ダミーのハンドを含め同じ効果になる最も小さなカードをフォローする。
75	パッシブな オープニングリードを選ぶ	・ NTのコントラクトでは、全体がバランスしていると思われるとき 4枚のアナーからの4thベストのオープニングリードは損をすることが多い。 5枚スートなら何時でも積極的に4thベストでOK。 4枚の時は、パッシブに弱い4枚からのリードが有力なこともある。
76	パートナーへのエントリは大事に	・ ダブルトンは（途中で2枚になった時も）、ブロックしないように上からリード。 ・ パートナーへのエントリは大事に。
77	パートナーズートをリターンする	・ 機会があれば、オープニングリードしてきたスートをリターンする。
78	スポットカードのフォローで 持っているアナーを数える	・ パートナーにアナーカードを期待してスポットカードをリードする時は、 そのカードはスートプリファランスになる。
79	残りダブルトンはハイをリード	・ ←そのまま。
80	NTでのパッシブリードの選択	・ オークションから長いスートをOLすると損しそうな時は、パッシブなリードをする。
81	ダブルトンQは、Qでサインしない	・ KのリードにダブルトンQはドロップしない。QのドロップはJを保証します。
82	ラストアナーにカバーせよ	・ ←そのまま。